

# 茨城の教育

茨城県高等学校教職員組合  
310-0853 茨城県水戸市平須町表原1-93  
telephone 029-305-3075  
facsimile 029-305-3317  
www.mito.ne.jp/~iba-kou/

## 受験難民を生んだ県教委統廃合政策の失敗

3月25日、茨城高教組は県庁において茨城県教育委員会高校教育改革推進室と交渉をおこなった。要求事項は、「第二次再編整備計画の前期計画において、高校統廃合は行わないこと」「学科改変等を行う学校での教職員対象の説明会を実施すること」の2点。

ここ10年で最高倍率

県教委は1月の「前期実施計画」発表の際、具体的な統廃合対象校名については、5月に公表するとしていた。この点について、「すでに決定していて、発表を5月におこなうのか」との問いに対し、「今年度の入試状況を考慮して5月中旬に決めて発表する。現段階で決まっているわけではない」と回答した。

2010（平成22）年度入試は過去に例を見ないほど志願倍率が高かった（全日制1.15倍）。特に県南、県西地区ではほとんど定員割れをしていない。300人を超えると見られる中学卒業生が高校に入れなかった。他の地区でも同様の傾向があり、県北の一部地区以外は高校に入學できなかった生徒が相当数出た。

「つくば地区の学級増を考える」

今年の県立高校入試でつくば地区で定員割れを起こした学校は一つもない。それどころか、

学校名	学科	募集人数	志願者数	超過数	志願倍率
岩瀬	普通	117	143	26	1.22
石下紫峰	普通	126	140	14	1.11
龍ヶ崎南	普通	92	115	23	1.25
江戸崎総合	総合	125	154	29	1.23
取手第一	普通	120	166	46	1.38
取手第二	普通	84	123	39	1.46
荖崎	普通	93	143	50	1.54
合計		757	984	227	1.30

応募状況の例

周辺の土浦、取手・竜ヶ崎、水海道、下妻地区で定員割れを起こした学校は取手松陽の音楽科だけである。（5人。ただし取手松陽の音楽科はずっと定員割れをしており、例年より定員割れの人数は極端に少ない。）

要するに、つくばとその周辺で絶対的に高校の数が不足しているのだ。これは、県立高校の再編整備と称して過剰な統廃合や学級削減を進めてきた結果である。

つくば市の上郷高校は昨年度募集停止をし、並木高校は中等教育学校への改変に伴い、8クラス募集を4クラス募集とした。これだけで7クラス分が減っている。さらに、荖崎や藤代紫水、竜ヶ崎南の学級削減をおこなってきた。これまでの再編整備は大失敗だったのだ。

改革推進室長は「つくば地区は、学級増を考えなければならない」と回答した。

「日立一高夜間定時制は再検討」

再編整備計画では日立一高と水海道一高の定時制を募集停止にするとしていた。ところが、2009年と2010年に定時制への応募者が激増している。

日立一高の中高一貫化に伴い、夜間定時制を募集停止することについて、改革推進室長は「新しい施設なども必要になるため、日立一高では募集停止にする」が、「定時制について改めて検討する」と回答し、日立地区に新たな定時制が生まれることを示唆した。

荖崎高校が3部制の定時制になるに伴う水海道一高の定時制の廃止について「水海道・岩井地区の生徒が通えなくなるので失当」との追及には、回答不能であった。

必要な定員確保は県教委の責務

今後2016（平成28）年まで、中学校卒業生はほぼ横ばいである。ところが、改革推進室長は

## 「これってハラスメント？」と感じたら 誰かに相談を 高教組女性部が「ハラスメント」について学習交流会

3月7日、茨高教組女性部はセクシュアルハラスメント、パワーハラスメントの実態と対処の方法、私たちがどのように行動すべきかについて、学習交流集会を実施した。

「女性の体育教師には若い人を採用したい」というのはセクハラ。「若い教員が、早く出勤して電話番号をやるべき」というのはパワハラ。セクシャルハラスメントは、日本社会における女性蔑視の風潮による。また、パワーハラスメントは、労働強化によるストレスが原因の一つではな

「数字だけをもって統廃合を行うわけではない。学校や地域の状況を総合的に考える」として2017年からの急減期に備えてあらかじめ定員を削減する可能性を示唆した。なんの理由もなしに中学校卒業生の進学先を奪うものだと厳しく批判した。

前期計画での統廃合は必要ない

つくば地区で学級増を検討しなければならないほど、募集定員の過剰な削減が強行されてきた。しかも、今後6年間は中学校卒業予定者数は横ばいである。当面、「前期」「中期」（2011-2016年）に統廃合をおこなう理由はない。

特に、統廃合の「最有力候補」と噂されている1学年2学級の常北高校と小川高校の統廃合は大きな問題がある。

常北高校は、今年、定員に近い69名が合格した。水戸市の

いかとも言われている。

「自分にスキがあるのでは」とか、「自分の能力不足」などと思って、誰にも相談できず、泣き寝入りするケースがかなりある。しかし、それを受けた当事者が傷つく言動や行動は、ハラスメントに該当するのだ。

ハラスメントを見聞きした時、受けた時「これって、ハラスメントだと思います！」と声を上げることが大切だ。ハラスメントであることを相手に気が付かせる必要があるのだ。そのためにも勇気を出して誰かに相談すべきである。

西に位置するが、近辺には高校は常北高校のみである。そして、水戸市内の各校は定員いっぱいである。常北高校をなくせば、多くの中学卒業生が行き場を失うことになる。

小川高校は石岡市と鉾田市の間に位置するが、鹿島鉄道の廃止によって極端な交通不便地となってしまった。にもかかわらず、今年は定員を充足した。2次募集では12名募集に27人も応募があった。

大きく定員割れした地域は大子・大宮・高萩だけだが、これらの地域ではすでに統廃合が進みすぎ、これ以上の統廃合は不可能である。

もっとも、大子・大宮が定員割れしたのは、水戸市内への進学者が多いためである。以前にも指摘したとおり（本紙972号、976号）、都市部の高校の定員はほとんど減っていない。県教委

ハラスメント被害により健康を阻害された職員に対して、労働災害が認定されるなどの新しい動きも見られ、少しずつ社会や職場でのハラスメントに対する意識が芽生えている。

兵庫県では、ハラスメント防止のための指針が作られている。国の指針作りについては全教として交渉中である。茨城県でも指針をつくり職場に周知させる必要がある。

現在、茨高教組女性部として職場の実態調査をおこなう方向で検討している。

が周辺から都市部へと生徒を誘導しているために、周辺地域での定員割れが作り出されているのである。「定員割れ」を口実とする周辺地域の高校の削減は誤りである。

「教職員対象の説明会を再検討」

総和高校の「中等教育学校」化など、学科改変を行う学校において、教職員対象の説明会は実施されていない。

改革推進室長は「地域向けの説明会を予定しているのでそこに参加してほしい」と回答した。しかし、地域住民と当該学校の教職員は立場が全く異なる。「地域住民のいるところで人事など内部の問題の質問はできない。教職員は地域住民に答えなければならない立場だ」と追及した結果、県教委は教職員対象の説明会（4月中旬）については改めて検討することとなった。

## 2010年度の茨城県高等学校教職員組合の執行委員・監査委員について

3月に実施された役員選挙で、2010年度の執行委員と監査委員が次のとおり選出されました。

### □執行委員会

委員長 岡野 一男 (上郷高校)  
副委員長 石塚 健一 (土浦工業高校)  
佐々木正久 (大洗高校)  
菅井 洋実 (大子清流高校)  
書記長 塚田 良夫 (専従)  
執行委員 久保田 章 (協和養護学校)  
栗又 衛 (石岡第一高校)  
斉藤 一利 (那珂湊第二高校)

### □監査委員

富田 秀子 (友部東養護学校)  
蓮田 斉 (水戸商業高校)  
村田 有 (取手第一高校)  
吉井 一人 (書記局)  
奥倉 聖智子 (佐竹高校)  
柏 秀子 (水戸工業高校)  
中野 育雄 (緑岡高校)  
横須賀 博 (那珂高校)

# 2010年 憲法フェスティバル

5月3日 (月) 10:30 ~ 15:00  
水戸市千波公園 はなみずき広場

午前 音楽の広場・「9条の会」交流会・茨城空港と基地問題  
ヒバクシャと語ろう核兵器のない世界

午後 Blue Sonic Jazz Orchestra・沖縄県人会によるエイサーの舞  
記念講演 「もう基地はいらない 普天間・辺野古ーいま伝えたい沖縄の心」  
沖縄反戦地主会弁護士 仲山忠克

2010年憲法フェスティバル実行委員会

代表 田村武夫 ☎ 029-231-4555

## 「ユダヤ人」は人種なのか？

必修〈道徳〉は生徒の道徳性の  
発達をうながすか？ (第28回)

「六千人の命のビザ」——杉原千畝評価におけるナショナリズムとシオニズム (13)

### §5 ユダヤ人と人種差別 (つづき)

#### ユダヤ人という「人種」

「ユダヤ人を助けた」樋口季一郎<sup>きいちろう</sup>と杉原千畝<sup>ちうお</sup>の行動をもって、「人種差別に反対した日本」の証拠だとする「日本会議」や「新しい歴史教科書をつくる会」の言説それ自体に、彼らの人種差別主義が表現されている。どういうことか？

ユダヤ人がひとつの人種として存在するという点に関して、ナチス・ドイツと大日本帝国は認識が一致する。「つくる会」の西尾幹二はナチス・ドイツと大日本帝国との違いを強調するのであるが、「ナチス・ドイツはユダヤ人を差別したのに対して、大日本帝国はユダヤ人を差別せず助けた」と力説すればするほど、ユダヤ人を人種とみなすことにおいて、両者が同じ見解を有することが明白になる。もしユダヤ人が人種でないのであれば、「ユダヤ人を差別することは人種差別であり、ユダヤ人を差別せず「助ける」ことは人種差別に反対することである」という主張は成り立たない。ユダヤ人に関して対照的な行動をとるためにも、ナチス・ドイツと大日本帝国は、「ユダヤ人という人種が存在する。つまりユダヤ人とはすなわちユダヤ人種である」という認識をあらかじめ共有していなければならないのである。

ユダヤ人を人種とみなすという点で共通性があるのは、ナチス・ドイツと大日本帝国だけではない。「ユダヤ人を助けた」ことは、大日本帝国が人種差別に反対したことの証拠である」とする「日本会議」と「つ

くる会」は、ユダヤ人がひとつの人種であると考えているに違いない。もしユダヤ人が人種でないのであれば、「ユダヤ人を差別せず「助ける」ことは人種差別に反対することであり、したがって大日本帝国は人種差別に反対する国家であった」という主張は成り立たない。ユダヤ人を人種とみなす「日本会議」と「つくる会」の人種観は、大日本帝国の人種観をそのまま受け継いだものである。したがって、「日本会議」と「つくる会」は、ユダヤ人を人種とみなす点で、ナチス・ドイツと共通している。

以上のとおり、1940年前後の大日本帝国が、ナチス・ドイツと同じく、ユダヤ人を人種とみなしていたことは疑いの余地がない。そしてまた、現時点において「日本会議」と「つくる会」がユダヤ人を人種とみなしていることもまた疑いの余地がない。

#### 人種概念の不成立

ユダヤ人を人種 **race** としてとらえることは、すでに人種主義 **racism** である。どういうことか？

ユダヤ人種と他の人種とを比較し、「ユダヤ人種は心身の特質・能力において劣っていると主張すること」は、ユダヤ人に対する人種差別である。そして、「ユダヤ人種が心身の特質・能力において劣っていることを理由として、かれらを差別的に取り扱うこと、さらに生存の権利まで否定すること」は、ユダヤ人に対する人種差別である。これらが人種差別にあたることは疑いの余地がない。問題はここにはない。

問題はその前提である。「ユダヤ人という人種が存在すると考え、そ

う主張すること」自体が、すでに人種主義 **racism** なのである。そして、その前提として「人類の内部にさまざまな人種が存在すると考え、そう主張すること」自体が、人種主義 **racism** なのである。

ユダヤ人という人種が存在しないというのは、「人類の内部には白人種、黒人種、黄色人種などの人種が存在するけれども、ユダヤ人という人種は存在しない」という意味ではない。白人種、黒人種、黄色人種などの人種も存在しないのである。

かつて人類の内部にさまざまな人種 **race** が存在するという見方が支配的だったが、現在、人種概念は根拠のないものであることが明らかとなっている。つまり、人種 **race** そのものが存在しないのである。人種が存在しない以上、人種間の比較をおこなうことはできない。比較すらできないのであるから優劣など問題にもならない。したがって、差別的取り扱いを正当化する論法は成り立たない。

人種 **race** そのものが存在しない。たとえば朝鮮人という人種、中国人という人種、日本人という人種は存在しない。同様にユダヤ人という人種は存在しない。「人種 **race** は存在するが、人種差別 **racial discrimination** はすべきでない」という主張は妥当性を欠く。人種 **race** の存在を主張した時点ですでに人種主義 **racism** が始まっている。人種 **race** の存在を主張した時点ですでに人種差別 **racial discrimination** が始まっている。

次回、人種概念が成立しないことについての検討にはいる。

(つづく)